

[前画面へ戻る](#)

## ナンバリング

講義コード

380519

授業科目名

芸術史講義(近現代)IA

担当教員

オムニバス

開講期・曜日・講時・教室

前期集中 その他 その他

履修区分

授業種別

講義

単位数

2

履修年次

1年以上

## 2020年度前期科目のシラバスについての注意事項

テーマ 20世紀初頭から21世紀まで、特に欧米での造形芸術の流れ

目的と概要 20世紀初頭から今日まで、おもに西洋で生じた様々な芸術動向に関する基礎的な知識を学ぶと共に、目まぐるしく変わる近現代の芸術作品、その様式の多様性についても紹介します。絵画・彫刻・建築といった既成のジャンルを横断するような作品の出現、あるいは新たなジャンルの誕生など、様式やジャンルの多様性が生み出された背景についても解説します。

とりあげるのは、フォーヴィスム、表現主義から、キュビズムと未来派、抽象絵画、ダダ、シュルレアリズム、抽象表現主義、アンフォルメル、ネオ・ダダ、ポップ・アート、ランド・アート、そして今日活躍しているジェームズ・タレルやジェフ・クーンズなどの作品です。

この授業で

伸ばすこと のできる7つ の能力	◎知識 発想力	◎思考力 構想力	行動力 表現力	倫理観
------------------------	------------	-------------	------------	-----

2019年度入  
学式以前7  
つの能力

他科目との  
関連

授業形態	ディスカッ ション  フィールド ワーク	グループ ワーク  ○e-learning	プレゼンテーショ ン  タブレットを使 用した双方向授業	映像資 料の視 聴
------	----------------------------------	--------------------------------	------------------------------------------	-----------------

履修上の注  
意

到達目標 この授業の目標は、

- ①20世紀初頭から現在までの芸術動向の歴史的展開を理解すること
- ②代表的な作家や作品を通して、各時代の芸術運動の理論的基盤と表現手法の特徴を理解すること
- ③受講生一人一人が近現代の芸術表現をめぐる諸問題について自分の考えを深めていくこと

の3点です。

まずは近現代美術の基本的な情報を押さえることによって、近現代の芸術活動をより身近な存在としてとらえ直し、近現代美術に触れるきっかけを掴んでもらうことが本講義の最大の狙いです。この講義を通して受講生の皆さんにさまざまな刺激を受け、芸術の見方や考え方を広げ、芸術に対する新しい視点を獲得していかれることを願っています。

評価方法 評価基準	授業態度	コメントカード・授業内提出物	課題・成果物	期末レポート	期末筆記試験
		○	○	○	○
文章表記の正確さと構成の明瞭性					
授業趣旨および課題内容の理解					
授業で扱った事実の正確な把握					
受講生自身の見解の明示					

100%

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価は課題の総合評価となります。

- ・1章「表現」への衝動—フォーヴィスム、表現主義、プリミティヴィズム
- ・2章 空間と時間の拡張—キュビズムと未来派
- ・3章 本質をめざして—抽象絵画の始まり
- ・4章 反逆の芸術—ダダとシュルレアリズム
- ・5章 戦争・革命・芸術—両大戦間期と第二次大戦下のヨーロッパ
- ・6章 20世紀前半の彫刻—公共空間のモニュメントからアトリエ内の実験へ
- ・7章 パリからニューヨークへ—アメリカ美術の胎動
- ・8章 戦後の抽象—抽象表現主義と現代絵画の系譜
- ・9章 ネオ・ダダからポップ・アートへ—芸術と生活の架橋
- ・10章 ミニマリズムとポスト・ミニマリズム—現代芸術の極点
- ・11章 コンセプチュアル・アートとランド・アート—拡張する芸術表現
- ・12章 世紀末の都市—性・人種・機械
- ・13章 イメージの氾濫—写真・映像を通過する芸術表現
- ・14章 20世紀後半の彫刻—形式の多様化と人間像の再生
- ・15章 グローバル化するアート—地域・市場・国際展

#### 授業計画

予習として、授業開始までにシラバスをよく読み、知らない専門用語等は下調べしましょう。また、テキストを入手し、シラバスと照らし合わせて授業の流れをイメージしておきましょう。  
復習として、全体講評の内容を参考にレポートやテキストの振り返りを行ってください。

#### テキスト・参考書について

テキスト	番号	書籍名	著者	出版社	出版年	金額
	1.	『近現代の芸術史 造形篇I 欧米のモダニズムとその後の運動』	林洋子編	藝術学舎	2013	2750

#### 参考図書

番号	書籍名	著者	出版社	出版年
1.	『20世紀の美術』	末永照和監修	美術出版社	2000
2.	『現代美術の歴史』		美術出版社	1995

3.『近代美術のキーワード』	H・H・アースナン、上田 高弘他訳 ロバート・アトキンズ	美術出版社 1995
4.『現代美術を知るクリティカル・ワーズ』	暮沢剛巳編	フィルムアート社 2002
5.『アート："芸術"が終わった後の"アート"』	松井みどり	朝日出版社

参考URL

参考画像

参考ファイル

担当教員の  
実務経験

オフィスア  
ワー

更新日付 2020/02/21 18:21:17

[前画面へ戻る](#)

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011